

第14回 大和北道路有識者委員会

議 事 要 旨

1. 日 時 平成15年7月18日(金) 14:00～15:30

2. 場 所 三井ガーデンホテル奈良 4階「飛天」

3. 出席者

委員 長	近畿大学経営学部商学科	教授	齋藤 峻彦
委 員	京都大学大学院工学研究科	教授	飯田 恭敬
	奈良女子大学	名誉教授	近藤 公夫
	(財)元興寺文化財研究所	所長	坪井 清足
	神戸大学大学院法学研究科	教授	山下 淳

(五十音順)

4. 議 事

第13回有識者委員会議事要旨の確認を行いました。

第13回有識者委員会の議事要旨の確認

市民意見等のとりまとめ(案)について事務局が説明しました。

寄せられた意見の分析結果について

上記に関して次のような議論がありました。

- ・自由意見の中で、その他に分類されている意見の中に、渋滞に関する意見があり、意見の趣旨を踏まえ分類を修正すること。

インタビュー実施結果について

上記に関して次のような議論がありました。

- ・大和北道路と関連する道路や道路網が有機的に連携することが重要である。
- ・インタビューでは、地域の交通事情や道路体系がどのように変わるのかということに関心が高かった。有識者委員会としても、提言の中でこの点について何らかの意見を表明する必要がある。
- ・奈良県、奈良市、大和郡山市などが、大和北道路の整備にあわせてアクセス道路をどのように整備するか明確にする必要がある。

公聴会等でいただいた提案ルートについて
上記に関して次のような議論がありました。

- ・道路計画において重要な指標である、「ネットワーク性と連続性（バイパス機能・アクセス機能）」、「国道24号等の交通混雑緩和への効果」、「文化財・自然環境の保護」、「土地利用との関係」、「建設コスト」の5つの指標に照らすと、市民等からの提案ルートは有識者委員会のルート代替案よりも優位と見なすことは難しい。
- ・環境整備を進めている佐保川や秋篠川などの河川空間上に道路を計画することは望ましくない。
- ・市民等からの提案ルートは、有識者委員会検討案に類するものは必要に応じて検討することとするが、今後は、有識者委員会で提案したルート案をベースに更に検討を進めていくこととする。

検討ルート計画諸元（案）について事務局が説明しました。

5. その他

次回委員会について

- ・ルート検討にあたり必要となる指標の項目について、議論を行う予定です。

以 上